

学位論文審査結果の要旨

学位申請者 氏名	Nguyen Thi Thuy
審査委員	主査 鹿児島 大学 教授 岩元泉
	副査 鹿児島 大学 准教授 坂井教郎
	副査 佐賀 大学 教授 小林恒夫
	副査 鹿児島 大学 教授 秋山邦裕
	副査 琉球 大学 教授 内藤重之
審査協力者	
題目	Effects of rural-urban temporary migration in the Red River Delta, Vietnam (ベトナム紅河デルタにおける出稼ぎが農村家庭に与える影響)
<p>ベトナムはこの20年間大きな経済成長を遂げてきたが、特に工業、サービス部門の成長が大きかった。そのため、労働市場が逼迫し、農村からの出稼ぎを促した。出稼ぎの動向は近年注目を集めている。本論文では労働力流出による農業・農村への影響が顕著な紅河デルタを対象に、出稼ぎによる農家経済への影響および農村生活への影響を、典型的農村を抽出して調査し、実態と課題を明らかにした。</p> <p>まず、紅河デルタにおける出稼ぎの地域性を比較的大都市に近いハイズン省と遠距離の純農村タイビン省を対象に検討した。純農村のタイビン省では農家所得が低く、出稼ぎ比率もハイズン省に比べて高く、タイビン省の出稼ぎ者は男性、世帯主、日雇い労働者、長時間労働者が多く、出稼ぎ年数も長かった。平均仕送り額はタイビン省のほうが低いのだが、所得構成では出稼ぎ所得比率が高かった。また出稼ぎ前後の所得比較をするとタイビン省の方が増加率が高かった。また、生活面への影響も功罪両面とも純農村のタイビン省の方に強く表れていた。</p> <p>次に、出稼ぎ者の属性が農家経済に与える影響を考察した。</p> <p>第1に、高齢の出稼ぎ者は出稼ぎ年数が長期に及び、若年者は短い傾向にあること、高齢者は日雇いが多く、若年者は工場労働者が多い傾向にあること、第2に、出稼ぎ者の属性が世帯の所得に影響しているが、若い出稼ぎ者世帯ほど農業所得の減少が大きく、その構成比も大きく低下している。反対に高齢出稼ぎ者の農業所得の減少は比較的小さかった。第3に、出稼ぎ年数の長い</p>	

世帯では、農業への投資が年数の短い世帯より多く、農業所得の減少も少ない。第4に、職業でも異なっており、工場労働者や家政婦の場合は、農業所得が大幅に減少し、日雇い、露天商、小商売などの場合は、農業所得の減少は少なかった。第5に、出稼ぎ先が遠方の場合は、農業所得が減少し、近隣の場合はその減少は小さかった。

次に、出稼ぎが農村世帯に与える影響を考察した。出稼ぎ世帯の所得を出稼ぎ前と比較をすると、名目評価ではあるが2倍から3倍に増加している。その結果、出稼ぎ世帯ではテレビ、バイク、冷蔵庫、洗濯機、パソコンなどを購入しており、出稼ぎ年数が長いほど整備されている。また95%の世帯では出稼ぎ収入による教育への投資も行われていることが明らかになった。しかし一方、出稼ぎ者は、都市での所得、仕送り、さらに仕事の熟練などで便益を受けているが、居住条件、労働環境、福祉の点では不利益を受けている。また、出稼ぎ者がいる家庭では、仕送りによって生活水準が向上しているものの、農業労働、老人・子供のケア、コミュニティへの参加の点では不利益を被っていることが分かった。要するに経済的には利益を受けているが、福利厚生に関しては出稼ぎには問題が多いこと、まだその程度は遠隔地の純農村地帯であるタイビン省の方が大きいことが明らかになった。

本研究の結果は、第一に、ベトナムにおける急速な工業化は農村からの出稼ぎを促しているが、出稼ぎ者のみならず、出稼ぎを出す農村家族にも大きな影響を与えていること、その程度は大都市に比較的近い省と遠隔地の純農村の省では差があること、純農村からの出稼ぎ者は年齢の高い者が多く、出稼ぎ期間も長く、不安定な就業状態にあることなど、地域性および階層性があることが明らかとなった。第二に、出稼ぎ者の世帯の農業への影響については、むしろ大都市近郊の出稼ぎ地帯で農業生産の後退が見られ、遠隔地では出稼ぎは長期化しているために農業所得の大きな減少にはつながっていない実態があった。出稼ぎ者の属性との関係では、若い出稼ぎ者がいる世帯、工場労働従事者などの方がネガティブエフェクトが大きいことを明らかにした。第三に、出稼ぎ者の世帯では仕送り収入による世帯の所得の向上が見られ、教育への投資や生活物資の購入が行われている反面、主婦や老人に農業労働や子供の面倒の負担がかかっていること、地域行事への参加ができずコミュニティ活動が希薄になるなどの問題を生じていることなど、労働市場展開の過渡期の様相を示していることを明らかにした。

本研究は、急速な経済発展による労働市場逼迫が恒常的な農業からの労働力流出とともに、兼業形態で進行するベトナム紅河デルタにおける農家経済へのインパクトを地域性および出稼ぎ者の属性に立ち入って解明したものであり、発展途上国の経済発展に伴う労働市場展開に有益な示唆を与えており、博士（農学）に値する業績であると判断した。